

資産運用レポート：不況を買う

1 はじめに

下図は、4月1日公表分の日銀短観に掲載された、製造業の「業容判断の推移」です。景気が循環し、ほぼ周期的に景気後退期の訪れていることが良く分かるグラフです。

ここ数年、アベノミクスによる好景気が続きましたが、景気サイクルを考慮すれば、そろそろ不況に突入してもおかしくありません。

現に、グラフからも景気ピークアウトの兆候を読み取れますし、景気の先行指標たる日経平均株価が年初より軟調です。

株は、不況の真ただ中で安値を拾い、景気が回復するまで持ちこたえられれば、一番儲かります。

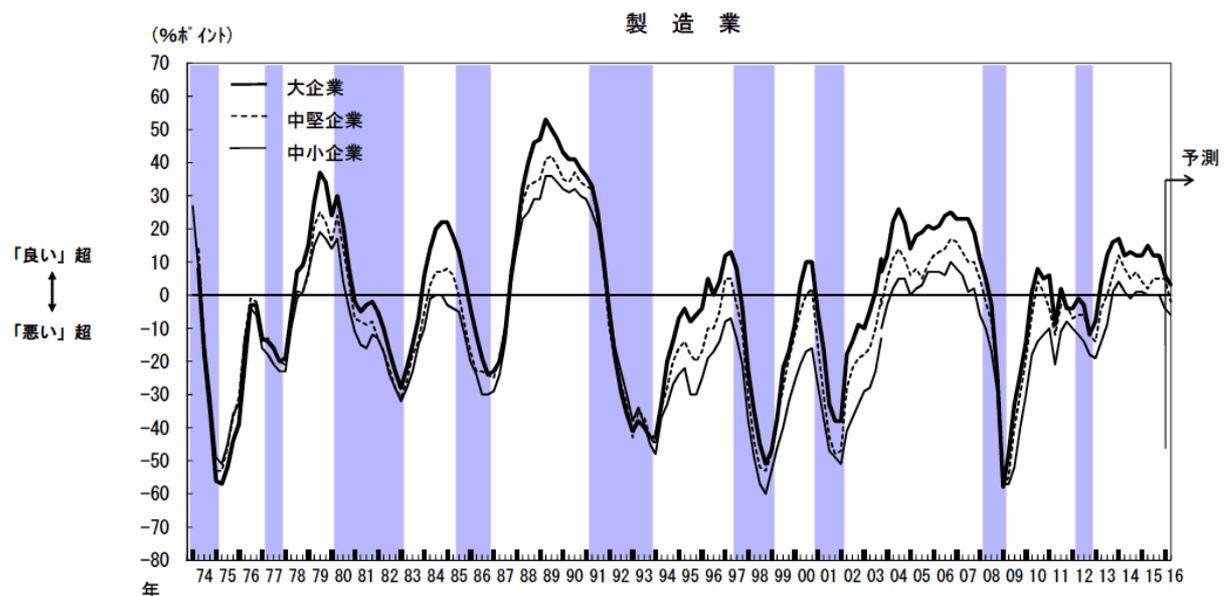
ただ、そのためには相応の準備が必要です。

- いかにして投資資金を確保するのか
- いつ、買い出動するのか
- どの銘柄を手がけるのか

予め段取りを組んでおかないと、資金不足に陥ったり、早めに買い過ぎ投げさせられたり、何を買えば分からなかったりして、せつかくの投資チャンスを逃してしまいます。

今回の資産運用レポートでは、不況で株を買うための準備について取り上げます。

★日銀短観 業容判断の推移



注：シャドーは景気後退期を示す